

SUNRISE

<SUNRISE = 太陽が昇る「日の出」と、三中(SUN)の雰囲気がいよいよ上がって(RISE)いくようにとの思いを込めて…>

堺市立三国丘中学校 生徒指導通信 生徒指導部発行 No. 16 2025. 7. 17

2学期を意識した夏休みを！

蒸し暑い日が続く、いよいよ夏も本番です。1学期を振り返ってみてどうでしたか。懇談では、担任の先生、保護者の方と共にいろいろ話をしたことだと思います。懇談での振り返りを夏休みの生活に活かしてほしいと思います。

明日から夏休みですが、どの学年にとっても、「勝負の夏」です。3年生は「受験生」としてこれまでの復習や2学期以降の予習に力を注ぐことになります。この夏に自分の力をどれだけ高められるかが今後の進路に大きく影響するでしょう。自分自身の性格を冷静に見つめつつ、暑い夏を乗り切る「やる気を出す工夫」もしながら確かな学力を身につけてほしいと思います。1・2年生は、部活動において新チームがスタートします。基礎基本の重要性は学習面においても部活動においても同じです。この夏、学習でも部活動でも基礎基本を大切にしたい取り組みをすることで2学期以降の成果が変わってくるのではないのでしょうか。各自の目標に照らし合わせて有意義な生活をしてください。

2学期には新人戦、合唱コンクール、体育大会と大きな行事が続きます。それぞれが各行事で活躍するとともに、学力の向上が期待できるよう、夏休みを充実したものにしてください。

夏休みの生活について

長い夏休みは、普段できないことに取り組むチャンスです。

しかし……。いくら時間にゆとりがあっても、だらだらと過ごしてしまったのでは意味がありません。学校での生活と違って、自分の決めたタイムスケジュールで生活すると、どうしても生活リズムが乱れがちになります。そのような日々が続くと、しだいに生活リズムが不規則になり、2学期からの学校生活に影響を及ぼすことにもなりかねません。今身についている生活リズムを維持することが大切です。しっかりとした計画を立て、遊びと勉強のけじめをつけて夏休みを有意義に過ごすようにしましょう。

～夏休みを有意義に過ごすために～

計画	健康管理	家事手伝い
<p>長期の休みになると、どうしても夜更かしになりがちです。だらだらと生活するのではなく、生活設計と学習計画を立て有意義な夏休みにしましょう。</p> 	<p>病気や怪我、夏場は熱中症にも注意が必要です。冷房をきかせた部屋に長時間いると、夏バテや夏風邪の原因にもなります。健康管理は十分に！</p> 	<p>「勉強してるから」・「クラブやから」を言い訳に何もしないなんてことはないように！家族と協力して、しっかり手伝いましょう。</p> 

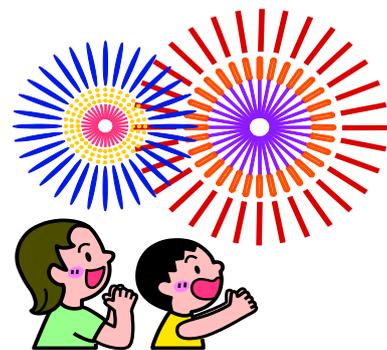
その他、みなさんが夏休みを安全に、有意義に過ごすために『夏季休業中の生活について』というプリントも配りました。プリントもしっかり読んでください。

夏休みは何のため？

一般に使われる「夏休み」は正式に言うと「夏季休業」と言います。

7月半ばから下旬にかけて、太平洋高気圧が梅雨前線を北に押し上げて「梅雨明け」となります。この太平洋高気圧は日本の南の太平洋上にできるもので、暖かくて湿った空気をたっぷり持っています。ですから梅雨明けからは暖かくて湿った空気がどんどん日本に流れ込み、大変な暑さとなって秋に入るまでそれが続くのです。この暑さのため、一つの部屋に数十人が集うやり方では効果的に授業を進めることが困難になるため、その間を休みとせざるをえないのです。

しかし君たちの「成長」が休みになるわけではありません。そのため、うまくこの期間を使って、普段の学校生活ではできない体験や挑戦をして、そこからさまざまな「学び」をしていきましょう、というのが「夏休みの意義」です。すべてを休みにするのではなく、学校での活動が休みになるだけで、皆さんの学びが休みになっているわけではないのです。



夏祭り・盆踊り

「お祭りの夜は 胸がさわいだよ」名曲「夏祭り」の一節です。

夜店や花火、そして盆踊りなど、夏祭りには胸を騒がせる要素が満載です。皆さんは、これまで以上にお祭りを楽しみたいと思いませんか？それには本質に迫ることが一番の近道。では夏祭りの本質とは？それは死者の霊を慰め、鎮め、病魔や邪気を払うことです。京都の夏をあでやかに彩る祇園祭は、疫病の原因とされる死者の怨霊を鎮めるために始まったものですし、最も古い花火大会とされる隅田川の花火大会（両国川開き）も、江戸時代の享保18（1733）年に、八代将軍徳川吉宗が疫病死者の慰霊と悪霊退散を祈って花火を打ち上げたのが始まりとされています。また盆踊りは、お盆に訪れるさまざまな霊魂の中に紛れている悪霊や厄神に、村から早く出て行ってもらうために村境まで送っていく「行列踊り」がその原型の一つと言われています。このように祭りの由来を地元の大人に聞いてから参加すると、さまざまな発見があって夏祭りがより楽しくなりますよ。

ちなみに、夏祭りが都市部で多いのに対して農村部では秋祭りが盛んに行われます。農村部では秋の収穫を祝い、実りをもたらしてくれた祖霊に感謝して山に送る祭りを催します。これが秋祭りです。よって都市部では夏祭りが多く、農村部には秋祭りが多いです。夏祭りと秋祭りの目的の違いも覚えておいてください。

水遊びの心得 再掲

梅雨明けとはいかないものの、猛暑の日が続いていますね。暑い日が続くと水遊びをしたくなりますが、危険がつきもので、この土日にも水辺での痛ましい事故の報道が複数ありました。水辺での事故にあわないようにするため少し考えてください。

水遊びは気持ちがよくて楽しいものです。しかしそこにはまた、死を招く危険もあります。遠くの海で「さあ、泳ぐぞ！」と意気込んでいるときより、近くの川などで気楽に水遊びをしているときのほうがよほど危ないかもしれないのです。では自分の命を守るためにどのようなことに気をつければ良いのでしょうか。それは、必ず大人と一緒に行くことです。友達同士だけで行きたい気持ちはよくわかりますが、非常に危険です。なぜならば、友達もあなたと同じように気軽に楽しく遊びたいからです。当たり前と思うかもしれませんが、これが実に危険なのです。

もし友達が楽しいことに夢中になっているとき、あなたが水中に沈んで自力で浮かび上がれなくなったらどうなるでしょう。たとえ1～2分でも、溺れて意識を失ってしまうのです。また、「あいつはあいつで潜水して楽しんでるな」と判断され、放置されてしまったらどうでしょう。これらは実際に毎年水辺で起きていることです。自分の命を守る手間と工夫を惜しんではいけませんよ。これからの暑くなる季節、十分に気をつけてください。

